

# 日本共産党 被災者の要望を聞く

しんぶん赤旗日刊紙の記事より

## 上田由美子市議

小矢部市内で  
被害を聞き取り  
(詳細は1ページに)

### 高台造成地に地割れ

富山・小矢部党市議が聞き取り

能登半島の付け根に (おやべ)市は、1日  
位置する富山県小矢部に発生した能登半島地

## 帰省中の笠井亮衆院議員、氷見へ水！

能登地震で幕開け。高尾山で新年挨拶から連れ合い実家、富山に着いた途端の大揺れ。2日、断水の氷見市にポリタンク9個とペットボトル48本の水を持ち地元党支部長と見舞訪問。傾いた家、崩れた石垣、道の陥没…。裏金、原発どころじゃない！早速、党対策本部オンライン会議で報告。国に緊急対策要望へ。(笠井議員のFBより)

# インフラ・家屋被害深刻

日本共産党の笠井亮衆院議員は2日、能登半島地震で被害を受けた富山県氷見市を訪れ、被災状況を確認するとともに、住民から要望等を聞き取りました。笠井氏が、党災害対策本部会議にオンラインで参加し、報告しました。

笠井氏は、現地の党支部員とともに市内各所を回りました。ある被災者は、氷見市では昨年大きな地震に見舞われたが、1日の地震の揺れはその比ではなく、「体験したことのない地震」「足の震えが止まらなかった」と訴えたといま

道路などインフラのダメージが大きく、各所で寸断状態でした。路上に15センチ程度の亀裂が入って段差が起き、輸送用トラックがはまって動けなくなった光景も。市内や能登半島に通じる専用道路は通行止めが続いており、普段は20〜30分ほど移動できる距離を、2時間かかる状況です。ライフラインの被害も深刻で、笠井氏は、「ライフラインの復旧が大きな一つのテーマです」と同会議で報告しました。笠井氏は大型のポリタンクを複数購入し現地に水を届けました。

笠井氏は、家屋の損壊が深刻だとも指摘しました。外見は壊れているか分からないが、「中に入るとガタガタの状態」だったと報告。激しい横揺れのため、天井や壁が落ちた家屋があり、「きちんとした(被害の)診断をした上での支援が大事だ」と述べました。

## 笠井議員 富山・氷見で聞き取り



地震で亀裂の入った道路にはまるトラックを見る笠井議員(右) 2日、富山県氷見市内

震で震度5強を観測しました。4日、日本共産党の上田由美子市議と地元の党員が、被災地を見舞い住民の要望を聞くため市内を調査しました。

住宅地を行くと、屋根の一部にブルーシートがかけられた住居、傾いた家、地割れ、塀のひび割れなど震災の爪痕が多く見られました。地割れの影響で破断した融雪管(地面の下を通した水を道路上の小さな穴からシャワー状に散布させ積雪を溶かす装置)も見つけられました。近隣住民は「これから雪のピークを迎えるのに不安」と言います。

谷口恭子さんの自宅には、敷地と道路を隔てる塀が倒壊の危険という事で「近づかない」と書かれた紙が掲げられています。谷口さんは「全壊じゃない

塀の撤去は自腹でしないといけない」とため息をつきます。

高台の造成地に立つ井端一博さんの自宅前には大きな地割れができていました。水道管は破断し、今も周囲の家を含め断水が続いています。住居部分も傾いてしまった井端さんですが「まず水道を復旧してほしい」と訴えました。

上田市議は「断水の解消など早急にインフラの復旧をするよう市に求めていきたい」と話しました。

しんぶん赤旗日刊紙

2024年 1月5日付

## 国道471号崩落現場

安楽寺地内 1月6日



しんぶん赤旗日刊紙 2024年 1月3日付